

平成22年度 事業報告

倉敷芸術科学大学

芸術と科学を融合し、芸術科学（インタラクティブ）の特徴を生かした、21世紀に必要な、考える知識基盤社会の構築に役立つ人材の育成を目指します。

地域になくてはならない大学です。



1. 建学の精神を守り、学園にふさわしい大学として、勝ち残りをかけ、教職員一致協力し、その魅力作りに努力しました。

2. 高大連携を密にし、小規模大学の良さをアピールし、対話型少人数教育の実践、地域になくてはならない大学をめざし整備充実を図りました。

3. 大学の諸規程を見直し、大学設置基準を守り、より効率的な運営を行いました。

4. 不採算部門は排除しつつ、将来、必要と見なされる部門は、極力その内容の充実を図り、社会のニーズに適した人材の育成に努めました。

5. 今年度は、特に産業科学技術学部の魅力作り、科学と芸術の融合、生命科学と健康・スポーツの推進方法に力を注ぎました。

6. 附属施設の「ヘルスピア倉敷」を生命科学・スポーツ・健康・東洋医学の実践場として蘇らせ、社会に開かれた施設として市民一般に開放しました。

7. 外国人留学生を受け入れ、国際交流が円滑になるように努めました。

倉敷芸術科学大学 学長 添田 喬

教学の充実

■キャリア教育

平成18年度から3年間、現代GPで培ったスキルをもとにさらに発展させ、「倉敷まちづくりプログラム」と位置づけ、前に踏み出す力、チームで働く力、考え抜く力を養うための職務体験を通して、課題発見力・実行力・状況把握力等、自らの役割を見つけ、積極的に自立・挑戦していけるキャリアの形成や社会人に求められる基礎的能力を高める教育を行いました。

■産学連携教育

倉敷市の推進する中心市街地活性化事業や経済産業省所管の戦略的中心市街地商業等活性化支援事業と協力し、都市づくり、産業、観光振興など地域と連携した人材育成を進めました。また、デザイン・映像分野では企業や行政機関から依頼される製品デザイン・CM等の製作により、学生の意欲向上となる生きた課題授業を行いました。

■高大連携教育

文部科学省SSH(スーパーサイエンスハイスクール)採択校の岡山県立玉島高等学校とはIT科学や生命科学分野、岡山県立総社南高等学校・香川県立高松工芸高等学校および広島県立熊野高等学校とはキャリ

ア教育や美術工芸分野、岡山理科大学附属高等学校とは美術工芸、デザイン、アニメーション、IT科学分野での連携を引き続き行ない、大学、高校間の境目のない接続教育と本学の教育理念「芸術と科学の協調」の実現に努めました。

■初年次教育

昨年度に続き、学習支援センターを中心に入学前の新生生に対し、課題をまとめた「Learning Support(入学前教育課題集)」や「学習支援センターだより」を作成、送付し、新生生が大学生活に期待や安心感を持ち入学できるよう、入学前準備教育を充実させました。1年次対象に前・後期基本英語、基本数学、基本化学、基本物理の4科目8単位を、また、後期には全学年対象の公務員試験(数学)対策講座を加えることにより、初年次教育を充実させました。

■留学生支援教育

今年度より、芸術学部・産業科学技術学部に加え、生命科学部にも留学生を受け入れられることとなり、専攻科目に正規科目として留学生のための日本語教育科目5科目10単位を追加しました。また、今年度入学した留学生を対象に「日本語能力テスト」を実施し、日本語の補習を必要とされた学生に「日本語補習授業」を開講し、留学生の日本語支援教育を行いました。

教育改革支援事業

■科学Tryアングル岡山

文部科学省「戦略的大学連携支援事業」の採択を受け最終の3年目にあたり、岡山、倉敷、津山の3都市にある岡山大学、岡山理科大学、津山工業高等専門学校と本学がそれぞれの科学教育研究資源を結集させ、5つのプロジェクト実行により、児童生徒、大学生、留学生、学校教員、社会人など、あらゆる人々を巻き込んで、多角的に科学を

見つめ、究め、育み、楽しめる人材及び地域の活性化に努めました。

■岡山オルガノン

平成21年度から23年度までの3年間文部科学省「大学改革推進事業」の採択を受け、岡山県内15大学が連携し、(1)教養教育の充実・共同FD・SD活動による「学士力」育成、(2)実践的キャリア指導・社会活動への参画による「社会人基礎力」育成、(3)地域連携による人材育成・地域貢献活動による「地域発進力」育成の3つの力の育成により岡山県から発信される地域創生型の人材育成に努めました。本学は、E-Learningで後期に開設する倉敷まちづくり科目を2科目提供しました。

■エネルギー環境教育

経済産業省資源エネルギー庁の「エネルギー地域拠点大学」として最終の3年目を迎え、教育プログラム、教材を開発し、人材を育成して行くと同時に、山陽地域の児童、生徒などにエネルギー環境教育の普及に貢献しました。また、2月12日にはヘルスピーア倉敷にてエネルギーと地球環境を考える「中国・四国子どもサミット2010」が254名の参加者のもと盛大に開催されました。

■キャリアデザインの発想による産学実践教育

平成22年度から26年度までの5年間文部科学省「大学生の就学力育成支援事業」に採択され、就職部・学生部・教務部・学習支援センター・健康管理センターの5つの部署が連携して、キャリア教育科目の段階的必修化により、人間関係形成能力・情報活用能力・将来設計能力・意思決定能力・職業適合能力の5つ能力を向上させ、就職率を伸ばす取り組みを行い、次年度に向けさらに進めていきます。

22年度新設学科・コース等

■留学生別科

昨年開設した神戸市東灘区御影にある神戸留学生別科の入学定員を1年コース190名、1年半コース80名に変更しました。また、本校の1年半コースを20名に変更し、アジア系留学生を中心に受け入れ、大学の講義に支障がでないよう、十分な日本語教育を行い、関連大学を含め、本学への進学を進めました。

■マンガ・アニメーションコース（メディア映像学科）

マンガとアニメーションの基本から応用までのすべてを学び、演出や演技をふまえた表現を提案できる漫画家、アニメーターやアニメーション作家を育成するコースを設置しました。

■企業経営コース、情報コース（起業経営学科）

ビジネス創造を通じてビジネスチャンスを事業化する方法と問題解決策を学習し、実際の実務経営から企業経営の成功に導く能力を身につけた人材を育成する企業経営コースを設置しました。また、国内外市場の変化の動向を見逃さないためにコンピュータを駆使して社会や市場を分析する手法を学び、時代のニーズを先取りするような人材を育成する情報コースを設置しました。

■臨床工学技士フライトCE資格科目の追加 （生命科学科）

阪神・淡路大震災後に航空医療の重要性が指摘され、救急医療用ヘリコプター（ドクターヘリ）の法制化もあり我が国の航空医療は急速に発展しています。そこで全国に先駆け医療用飛行艇における臨床工学技士フライトCE資格取得に向けた科目を追加しました。

■健康ケア関連科目の追加（健康科学科）

若年層から高齢層における健康を重視したライ

フスタイルの設計において、身体の管理・維持の方法を学び、スポーツジム、リハビリ・高齢者施設などで活躍できる人材を育成できるカリキュラム内容とするために科目を追加しました。

申請・届出関係

■学科改組

産業科学技術学部では、現在あるIT科学科と起業経営学科を統合し、平成23年度より経営分野と情報分野の領域横断的学習と研究を行う、技術知識を身に付けた企業経営者の育成や企業経営センスを身に付けた情報技術者を育成する経営情報学科を設置しました。

生命科学部生命科学科では、香りの調合や食品・化粧品等への配合を学び、また、香りの分析や合成、香料植物の栽培、香りの効果やアロマセラピーも併せて学び、広く香りの業界で活躍できる人材を育成するアロマ・サイエンスコースを設置しました。また、健康科学科の健康ケア分野を特化させ、平成23年度より東洋医学に基づくはり師・きゅう師の養成、健康運動やスポーツ活動における障害予防・身体ケアを担うアスレティックトレーナー(AT)の養成、メンタルケアのできるセラピスト、また、生活習慣病に対する予防策としての薬膳等を取り入れた食生活指導ができる人材等、総合医療的に人間の健康ケアができる人材を育成する健康医療学科を設置しました。

■留学生別科1年半コース募集停止

神戸留学生別科の1年半コースを平成23年度より募集を停止しました。なお、倉敷本校については、引き続き募集を行います。

課外活動

■バスケットボール部

(男子)

- (1) 中国大学バスケットボール選手権春季大会
第2位 (H22. 5. 1~4)
- (2) 全日本大学選抜バスケットボール大会
4名選抜 (H22. 7. 2~4)
- (3) 中国学生バスケットボール秋季大会
第2位 (H22. 10. 15~17)
- (4) 全日本大学バスケットボール選手権大会
出場 1回戦敗退 (H22. 11. 29~12. 5)
- (5) 国民体育大会
個人岡山県代表として出場 (H22. 9. 29~10. 4)

(女子)

- (1) 中国大学バスケットボール選手権春季大会
第3位 (H22. 5. 1~4)
- (2) 日本女子学生選抜バスケットボール大会
3名選抜 (H22. 7. 2~4)
- (3) 全日本大学バスケットボール選手権大会
中国地区予選3位 (H22. 10. 14~17)

■柔道部

- (1) 全日本学生柔道体重別選手権大会
男子100kg超級 1回戦敗退 (H22. 10. 8~10)
- (2) 中四国学生柔道体重別選手権大会
団体戦 第3位
男子100kg超級 第3位 (H22. 8. 27~29)

■空手道部

- (1) 中四国空手道選手権大会
個人形 第3位 (H22. 4. 24~25)

■アーチェリー愛好会

- (1) 国民体育大会
個人岡山県代表として出場 (H22. 9. 29~10. 4)

学生募集

■重点地区・加計グループ力を利用した広報戦略

兵庫県西部、北部および広島県東部を重点地区として各学部から担当者を決めて重点的に広報活動を実施しました。加計学園グループとして岡山県では岡山放送でのテレビ番組の放映、沖縄県でもテレビ放映と説明会の実施、福岡県では初の説明会を企画する等、加計グループ力を結集して効率的な広報活動を展開しました。

■ホームページの充実

①モバイル（携帯電話）版ホームページのバージョンアップ (<http://www.kusa.ac.jp/jei>)

昨年度新規開設したモバイル（携帯電話）版ホームページをさらに充実、学長コラム、副学長コラム、職員コラム、適正学科診断等を企画オリジナルキャラクターを利用してより高校生目線の展開を図りました。制作には、学生を起用し、より親しみやすいホームページ作りを目指し、学部学科情報、入試情報、オープンキャンパス案内等トピックスを一括送信できる体制を整備しました。

②留学生対象のホームページ

昨年度から継続して留学生へのアプローチを強化するため、海外からのアクセスで、学部学科情報、入試情報、学納金額、下宿情報などが入手できるように外国語版ホームページを整備し、優秀な外国人受験生、留学生の確保に努めました。

■大学トピックスのタイムリーな公開

高等学校進路・受験生に対して、本学が伝えたい情報を1枚のチラシにまとめて、タイムリーに大学の情報を広報できるよう展開しました。

■大学を活気づけるイベントの開催

科学系教員と芸術系教員により現在の教育や研究テーマを紹介するおしゃべりを通じて、相互の

学部・学科をよく知ってもらい大学を活気づけるため、学生・教職員が一体となった大学主催のイベント“Science+Arts Cafe”を開催しました。

就職活動支援

■就職ガイダンス・就職対策講座

就職ガイダンスを3年次・修士1年次生に年間15回、就職対策講座を3日間、公務員採用試験対策講座を5日間実施、新たに留学生に対するガイダンスの実施、さらには、4年次生による内定報告会をはじめ、企業担当者による業界説明会を4回、また、OB・OGの報告会を開催しました。

ガイダンスにマナー、メイクなども取り入れ、8月の就職ガイダンスでは、リクルートスーツでの出席を義務付け、早期から学生に就職に対する意識の向上を促しました。

■職業適性・就職実践模試

2、3年次生対象に職業適性自己理解テストを1日5回3日間、SPI適性模擬検査を2回実施し、自己分析を促しました。また、就職実践模試（START）エントリーシート攻略テスト6日間、模擬面接（個別、グループ面接）の指導を随時実施し、実践に備えました。

■就職支援

就職に対する意識の向上のために、各ガイダンス等を実施していますが、学生への求人情報を学内に掲示するとともに、各地で行われる合同説明会などの就職に関連した情報を含め、学内での企業説明会なども表示モニターを活用しながら、学生への就職関連情報の支援を行いました。

■就職懇談会

2月に企業担当者を招き、学生との個別面談を行う就職懇談会を実施しました。また、企業担当者と教職員が情報交換会を行う、加計グループ合同の就職懇談会（東京・広島・大阪）を開催しました。

■「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラム

就職部の取り組み「入学から卒業までの総合的就職サポート体制の構築」が平成21年度から23年度までの3年間文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」学生支援推進プログラムに採択され、順次申請計画に基づき実行しました。

組織

■インターナショナルセンター

神戸留学生別科の留学生へのサービス向上を目的に、神戸留学生別科事務課を設置しました。それに伴い別科事務課は廃止し、本校留学生別科生については留学生課で対応しています。

■庶務部

学長の直轄の秘書室を、大学事務局の所管に変更し、事務的な相談・指示が円滑にできる体制とするため、庶務部に秘書課を移設しました。

主な行事

4月 4日	大学院(通信制)入学宣誓式
4月 5日	入学宣誓式
4月17日	霞祭
6月13日	オープンキャンパス
7月31日 ～8月1日	オープンキャンパス
9月 4日	教育懇談会(地方会場)
9月11日	教育懇談会(本学会場)
9月23日	オープンキャンパス
9月24日	留学生別科1年半コース入学宣誓式
9月26日	学部・通信教育課程学位記授与式
10月30日 ～31日	芸科祭
11月 4日	就職懇談会(東京)
11月23日	オープンキャンパス
2月14日	就職懇談会(本学)
3月 4日	就職懇談会(広島)
3月11日	就職懇談会(大阪)
3月23日	学位記授与式

学生・教職員数

■在籍学生数

(平成22年5月1日現在)

研究科・学部・学科名		入学定員	入学者数			収容定員	在学者数			秋期入学 ※	
			留学生	社会人	留学生		社会人				
大 学 院	芸術研究科(博士)	4	3			12	6		1		
	芸術研究科(修士)	20	9			40	21				
	産業科学技術研究科(博士)	4	0			12	2		1		
	産業科学技術研究科(修士)	16	10			32	19				
	人間文化研究科(修士)	15	10	8		30	16	12			
	大学院 計	59	32	8	0	126	64	12	2	0	
学 部	芸 術 学 部	美術学科	(募集停止)	—	—	—	40	40		1	—
		美術工芸学科	40	31			125	109	1		
		メディア映像学科	30	44	5		130	136	5		
		工芸・デザイン学科	(募集停止)	—	—	—	30	23			—
		デザイン学科	30	46			95	118	2		
		計	100	121	5	0	420	426	8	1	0
	技 産 術 業 学 部 学 部	IT科学科	30	18	1		150	93	7		
		起業経営学科	30	19	13		120	110	65		
		観光学科	45	47	24		130	135	78	3	
		計	105	84	38	0	400	338	150	3	0
	生 命 科 学 部	生命科学科	45	52			220	235			
		健康科学科	60	60			240	240			
		生命動物科学科	65	82			266	307			
		生命医科学科	45	63			130	165		1	
		計	215	257	0	0	856	947	0	1	0
学部 計		420	462	43	0	1,676	1,711	158	5		
通学制 合計		479	494	51	0	1,802	1,775	170	7	0	
大 学 院 (通 信 制)	芸術研究科(修士)	10	2		1	20	4		2		
	産業科学技術研究科(修士)	20	0			40	1		1		
	人間文化研究科(修士)	30	3		3	60	9		8		
	計	60	5	0	4	120	14	0	11	0	
学 部 (通 信 教 育 課 程)	産業科学技術学部	(募集停止)	—	—	—	900	23		10		
	計	—	—	—	—	900	23	0	10	0	
通信制 合計		60	5	0	4	1,020	37	0	21	0	
総合計 (通学制+通信制)		539	499	51	4	2,822	1,812	170	28	0	
留 学 生 別 科	留学生別科	50	30	30	—	60	51	51	—	20	
	神戸留学生別科	270	14	14	—	310	50	50	—	30	
	留学生別科 計	320	44	44	0	370	101	101	0	50	

※ 秋期入学については、5月2日以降(平成22年5月2日～平成23年3月31日)に入学した者です

(単位:人)

■卒業生数等一覧

(平成22年度)

区分		修了者・ 卒業生	満期 退学	就職希望者 A	就職者 B	就職率 B/A	進学者	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
大学院	博士	2	1	0	0	0%	0	1	0	0
	修士	26	-	7	6	86%	8	4	0	0
学部		381	-	254	205	81%	27	85	18	20
大学院(通信制)		6	-	-	-	-	-	0	0	0
学部(通信教育課程)		5	-	-	-	-	-	3	0	4
留学生別科		81	-	-	-	-	77	5	1	0

※ 修業年限を超えて在籍している学生数(平成23年4月1日現在)

(単位:人)

主な就職先	JFEスチール(株)西日本製鉄所、日亜化学工業(株)、名古屋製酪(株)、(株)河合楽器製作所(株)ハローズ、(株)ホテルグランヴィア岡山、菅原硝子工芸(株)、(株)福岡動物医療センター 警視庁、東京消防庁 他
-------	---

■教職員数

(平成22年5月1日現在)

学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	別科講師	教員計	事務職員
1	2	78	18	15	6	2	1	123	55

(単位:人)

